

私はこの「姉妹派遣都市事業」を通して人の温かさにたくさん触れ、経験から人は学べるということを身に沁みて感じ、自分自身の成長につながる日々を送ることができました。

七月三十一日昼、私はワクワクと少しの不安、緊張を抱え、仲間が待っているバスへ向かいました。そこでは両親、学校の先生方、市役所職員の多くの方に見送ってもらい、「よし、頑張ろう」と決心することができました。私は初飛行機、初海外でした。事前研修会でコロラドスプリングス市のことや現地での対応の仕方などを学んだのですが完璧に覚えて使えるまでではなかったので不安な気持ちでバスを過ごしていました。羽田空港では飛行機の便が遅れてしまい、予定が変更されましたが初めての飛行機を無事に搭乗することができました。次の日はついにホストファミリーと会う日でとてもわくわくしていました。実際に会った時には七歳の女の子と三歳の男の子がいて二人の可愛さに圧倒され不安がすべて楽しみに変わりました。二人がたくさん話しかけてくれて「来てよかったな」と改めて思う瞬間がたくさんありました。ホストファミリーと過ごしていて一番楽しかった時間は食事の時間です。毎回の食事中の会話で日本の文化、好きな場所や食べ物、コロラドスプリングス市の有名な場所や次の日に行きたいところを話したりしました。言語が違っていてもめげずに伝えれば誰とでもコミュニケーションをとれるということを身に染みて感じられた時間でした。最初は私自身英語力に自信がなく、ホストファミリーとの会話に不安を感じていました。ですが、積極的に反応や返事をして、会話に交じるように意識すると、ホストファミリーがゆっくり話してくれて少しずつ会話に参加できるようになり、みんなで楽しく会話することができるようになりました。私はこの九日間でたくさんの人の温かさに触れ、過ごすことができました。

結団式で決意表明の際に「感謝の気持ちを忘れない」「自分の将来につながるいい経験にしたい」と語りました。私は、この決意を守れたと感じます。分からないことだらけでスタートした九日間はたくさんの人の支えがあったからこそ新しいことをやってみようと頑張れたと思います。これまで支えてくださった学校の先生方、家族、向かい入れてくださった現地の方々、市役所職員の方々、本当にありがとうございました。